様式A　　技術英語講読（福田）

<table>
<tr><td colspan="5">科目にかかわる情報</td></tr>
<tr><td rowspan="3">科目の
基本
情報</td><td>授業科目
(欧文)</td><td>技術英語講読
Reading on Technical English</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>一般・専門の別・
学習の分野</td><td>専門・機械とシステム</td><td>授業形態・学期</td><td>講義・前期</td></tr>
<tr><td>対象学生</td><td>ＭＳ－１</td><td>必修・選択の別</td><td>選択</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教員に
かかわ
る情報</td><td>担当教員・所属</td><td colspan="3">福田昌准・機械工学科</td></tr>
<tr><td>研究室等の連絡先</td><td colspan="3">研究室：機械・電気電子工学科棟１階（内線：８２５６）
E-mail：fukuda@tsuyama-ct.ac.jp</td></tr>
<tr><td rowspan="6">科目の
学習・
容にか
かわる
情報</td><td>基礎となる学問分野</td><td colspan="3">工学／機械工学</td></tr>
<tr><td>専攻科学習目標
との関連</td><td colspan="3">本科目は専攻科学習目標「（２）材料と構造、運動と振動、エネルギーと流れ、情報と計測・制御、設計と生産・管理、機械とシステムなどの専門技術分野知識を修得し，機械やシステムの設計・製作・運用に活用できる能力を身につける。」に相当する科目である。</td></tr>
<tr><td>技術者教育プログラム
との関連</td><td colspan="3">本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F)コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成，Ｆ－２：発表や討論をとおして，相手の考えや知識の相互理解ができること」である。付随的には「Ａ－２」にも関与する。</td></tr>
<tr><td>授業の概要</td><td colspan="3">機械・制御システムに関する取扱説明書，マニュアル，教科書等の技術英文の講読と文献紹介を行う。専門知識を確認しながら読解力の育成を図るとともに，技術英文の内容をまとめて発表する文献紹介を通してプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の育成を図る。</td></tr>
<tr><td>学習目的</td><td colspan="3">英文の技術書や取扱説明書の内容を理解して仕事に活用したり，これを要約して分かりやすく伝えるための素養を育成する。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="3">１．技術英語単語の理解を深める。
２．専門知識を生かして，簡単な技術英文を理解し説明できる。
３．技術英文の内容を要約して発表し，質疑応答に対応できる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">履修上の注意</td><td colspan="3">本科目は「授業時間外の学習を必修とする」科目である。１単位あたり授業時間として１５単位時間開講するが，これ以外に 30 単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。
概要発表を必ず行うこと（単認定要件とする）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">履修のアドバイス</td><td colspan="3">専門分野の基礎知識が前提となる。必ず予習をし，毎日英語に触れる機会を持つように心掛けること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">基礎科目</td><td colspan="3">英語，機械工学・電子制御工学に関する専門基礎知識</td></tr>
<tr><td colspan="2">関連科目</td><td colspan="3">実践英語Ⅰ（専１年），実践英語Ⅱ（専２）</td></tr>
</table>

授業にかかわる情報			
授業の方法		「技術英文の講読」では，学生が技術英文を和訳することによって授業を進め，裏付けとなる専門基礎知識の確認も併せて行う。 「概要発表」では，内容をまとめて口頭による発表を行い，質疑応答を通して内容の理解を深める。	
授業計画	開講週	授業時間内の学習内容〔項目〕（指示事項）	授業時間外の学習内容〔項目〕（指示事項）
	前期 1週・2週	● 講義の概要〔ガイダンス〕 最近の記事より	・予習・復習，特に予習が前提となる．数回，予習の状況を確認し，これを評価に加える．
	3週・4週	● 取扱説明書(1)〔DVD player〕 弾性とひずみ	
	5週	● 概要発表(1)　ほか	・概要発表準備
	6週～8週	● ディーゼルサイクル 大学入試問題(1)〔アレルギー〕，ジュール熱ほか ● 単語テスト(1)(７週目)	
	9週	● 概要発表(2)　ほか	
	10週～12週	● 大学入試問題(2)，取扱説明書(2)〔アイロン〕ほか ● 小テスト(10週目)　ほか	
	13週	● 概要発表(3)　ほか	
	14週	● 新聞記事〔エコカー〕，短文，大学入試問題(3) ● 単語テスト(2)(14週目) （期末試験）	
	15週	● 答案返却と解説	
教科書，教材等		教科書：自作の教材(プリント) 参考書：	
成績評価方法		試験成績(８０％)〔期末試験成績(５５％)，小テストおよび単語テスト(２５％)〕，概要発表(１０％)，授業時間外の学習成果(１０％)の総合評価とする。 試験（単語テストを除く）には，英和辞典の持込を許可する。	
受講上のアドバイス		エンジニアに英語は必須である。授業には，各自で自発的，積極的に取り組むとともに，英語に触れる機会を多く持つように心掛けること。 ２０分を越える遅刻は，欠課とみなす。	